

# 道徳科を要とした 自ら学ぼうとする児童の育成 ～倉吉市立灘手小学校～

## 1 とっとり学力・学習状況調査の状況

6年生は、主体的・対話的で深い学びの実施、非認知能力の全項目において、県平均を顕著に上回っている。また、学習方略では、特に認知的方略、努力調整方略の項目が、県平均を顕著に上回っている。

## 2 効果があると考えられる取組

### (1) 道徳科：校内研究の確かな積み上げと日常生活への接続

#### ①年間35時間の確実な実施

道徳科の研究を進めて4年目となり、その成果が浸透している。児童が自分の思いや考えを自分の言葉で伝えること、役割演技を通して自己表現し、学び合うこと等を特に大事に実践している。教師が意図や願いをもって授業計画を立て、年間35時間を確実にやり切ることで、児童の学び力や関わり合い、心の育ち等、確かな成果となって表れている。

#### ②学びの可視化による日常生活への接続

毎時間の学びを、「道徳の足あと」として可視化して掲示している。道徳科での学びを日常の生活場面に生かすきっかけづくりとしたり、日常の生活場面から道徳科の学習を振り返ったりするなどしている。児童が道徳科で学んだことを生活の中で意識したり、時に自己を振り返ったりするきっかけとすることで、実生活の中でも考えよう・振り返ろうとする児童の姿を目指している。



「道徳の足あと」が全学級の教室に掲示されている。

#### ③児童による課題設定から始まる道徳授業

今年度は、授業づくりの新たな挑戦として、これまでには行っていない新たな授業の在り方を目指している。児童が資料を読んで、自分達で話し合いたいこと等を出し合う中で、自分達で課題設定しながら学びを深めていく学習に取り組んでいる。児童の主体性や多様な思考、表現力、自分達でまとめる力等がより求められるが、さらなる高みを目指して試行錯誤を続ける中で、徐々に変容と成果が表れてきているところである。

#### ④全職員でほめる・価値付ける ～学校全体で行う道徳教育～

児童一人一人に毎日確実に目が行き届くという小規模校の利を生かし、担任だけでなく、多くの教職員が児童と直接繋がり、児童の姿をほめたり、価値付けたりすることができている。また、児童が頑張っている姿や今取り組んでいることを掲示して可視化する等、校内の温かい雰囲気づくりも大事にしている。



写真と吹き出しで様々な児童の姿が紹介されている。

道徳科を中心にして、児童が様々な事例や場面を通して考えたり、自己を振り返ったり、伝え合ったりすることが、認知的方略、努力調整方略等の学習方略の育成に繋がっていると考えられる。また、教職員全体に「みんなで子どもを育てよう」「一度決めたことはみんなで徹底しよう」とする協働的な雰囲気強いこと、「子どもは地域の宝」と思ってもらえる地域との強い繋がりがあること等、児童を取り巻く環境の温かさも、また非認知能力の育成に繋がっていると考えられる。

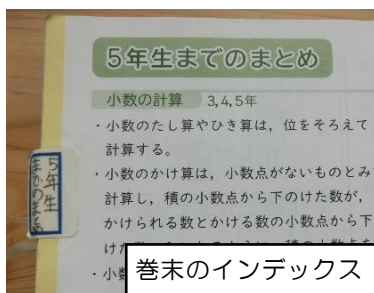
## (2) 自ら解決しようと行動する児童の姿を目指して

### ① 自ら解決するための環境づくり

学習中に児童が疑問を感じた時、分からないと思った時に、すぐに自分で調べられる環境づくりと手立てをしている。教室内のロッカーには、各自の国語辞典や前学年で使っていた算数の教科書、地図帳等が常備してある。こうした環境のもと、疑問に思うことや分からないと感じた時に、まずはそれらを使って調べようとする児童の姿がたくさん見られている。

### ② アイテム：インデックスの活用

特に算数科では、教科書巻末にある「〇年生までのまとめ」「〇年生のまとめ」のページにインデックスを貼っておき、既習内容を確認したいと思ったらすぐにそのページを開いて確認できるようにしている。巻末の内容を自ら活用する習慣づくりがなされており、困った時でもまずは自分で教科書を駆使しながら考えてみようとする児童の姿を目指している。既習事項を活用して問題解決していく算数科は、特にそうした姿勢を育成しやすい取組の場であると考えられる。



巻末のページを使い、自ら調べている児童の姿

### ③ アイテム：自分で見直そう ～テストチェックポイントの活用～

テストの際、何が問われているのか、題意を正しく捉え、ケアレスミスをなくすため、「チェックポイント」シートを黒板に掲示し、児童自身で確認できるような手立てをしている。自ら解決する児童の姿を目指して、セルフチェックの習慣をつけるように取り組んでいる。

\*テストのチェックポイント（6年用：一部抜粋）

- ・単位を書いているかな？ 計算まちがいはないかな？（算数）
- ・漢字のはね、はらい、とめは正しいかな？（国語）
- ・ぬきだし文の「,」「。」漢字表記などは正しいかな？（国語）
- ・問題文に合った答え方をしているかな？ 記号、○、×、選択数など（全教科）

### ④ 自主学習へのつながり

授業で疑問に感じたことを自主学習（家庭学習）で進んで調べてくる児童や、テストでまちがった箇所を自ら復習する児童の姿も見られている。算数の教科書巻末にある復習ページを自主学習として行ってくる児童もいるなど、自ら調べる環境づくりと手立てが、児童の自主的な学びにも着実に繋がっていると見える。

児童が自ら調べ学ぼうとする場面が増えれば、自ら思考を巡らせたり、工夫したり次につなげようとしたりする場面も当然生まれてくる。以上のような取組が日常の中で大事に継続されていることが、認知的方略や努力調整方略等の学習方略の育成にもつながっていると考える。

# 人間関係づくりを基盤にして目指す 表現力の育成 ～倉吉市立関金小学校～

本報告内容は、倉吉市立鴨川中学校1年生の調査結果をもとにして、多くの生徒の出身校である倉吉市立関金小学校に聞き取りを行った事例である。

## 1 とっとり学力・学習状況調査の状況

倉吉市立鴨川中学校1年生は、主体的・対話的で深い学びの実施、非認知能力の全項目において、県平均を顕著に上回っている。学習方略の全項目においても県平均を上回っており、特に柔軟的方略、プランニング方略、作業方略、認知的方略の項目は県平均を顕著に上回っている。

調査の実施時期がまだ年度の最初であったことを考えると、これらの数値の背景となっているものは、生徒が通った関金小学校時代の方に色濃くあるのではないかと推察した。前6年生と現6年生の様子を聞き取る中で、学校全体で大事にしている考え方や取組が見えてきた。

## 2 効果があると考えられる取組

### (1) 学校全体で取り組む確かな基盤づくり

#### ① ベースはよりよい人間関係づくり

学級のスタート時には特に、児童同士が考えや思いを伝え合う活動や仲間づくりゲームを意図的に数多く設定し、よりよい人間関係をつくるための小さな取組を日常的に行っている。それらの活動を通して、学級のみんなが楽しみながら繋がり、自らの思いを他者へ発していける集団づくりが行われている。思いや考えを伝え合う数多くの機会を通して、お互いを認め合い、一人一人が良さを発揮し合える集団づくりを目指している。

現6年生にも「言いたいことが言い合える」人間関係の良さがあることや、対話が当たり前でできる関係性が育っていること等を伺った。関金小学校全体でも、日々の何気ないところから、生活や学習の基盤づくりとして人間関係づくりが大事にされていると言えるだろう。

#### ② 学校全体として目指す力の明確化

算数科：校内研究においても、「伝えることが楽しいと実感できる授業づくり」を目指して、児童の「伝え合う力」や「説明する力」の育成を核にした取組を進めている。児童の実態や課題の分析をもとに、今年度は特に表現力の質を一層高めていくことを目指している。そのために、「説明・発表の機会の充実」「学び合う活動の充実」を授業づくりの重点としている。

人間関係づくりを基盤にしなが、児童の表現力等を日々着実に高めていくための体制が学校全体として築かれている。



運動会の応援練習にて：自分達で集まって話し合い、意思決定をしながら一丸となって全校を動かそうとしている6年生。6年生の育ちや人間関係が感じられる一コマ。



## (2)「伝え合う」場面の設定

### ①こまめにアウトプットし合う場面

ペアやグループでの話し合い等、児童同士が関わり合いながら、自分の考えを自分の言葉で伝え合う（アウトプットし合う）機会をととても大事にしており、そのような場面が日常の授業や生活の中で意図的に、頻繁に設定されている。短時間×多回数によるアウトプットの積み重ねにより、他者とつながることが当たり前・自分の口で伝えることが当たり前という状態が徐々に作られていくのだと考えられる。



ペアやグループ等、児童が進んで他者と関わり合い、話し合いながら学びを深めていく機会がととても大事にされている。

### ②自ら他者と繋がり教え合う場面

「シンキングタイム」と言って、本時の課題解決のために、児童が教室を自由に動き回って友達とつながり、教え合ったり考えを整理したりする活動が行われている。各々の児童が必要感をもって自ら友達とつながり合い、教え合いによって分からない箇所を解決し合ったり、考えを形成したりすること等が行われていた。これらは個別最適化にもつながる学習形態であり、児童が自己の状況に応じて主体的に行動しようとする気持ちや、相手に伝わるようにまとめて話す力等が、活動をとおして育まれていくのだと考えられる。



### ③発言を再現してつなぐ場面

授業の中では、ある児童が発言した内容について、今度は別の児童がもう一度その内容を再現する形で発言するという取組も行われている。そのようにして発言をつないでいくことで、友達の発言をより注意深く聞くようになるし、友達の発言内容を自分なりに解釈して再現する（アウトプットする）ことで、より深い理解にもつながると考えられる。

### ④「受け取ったら返す」意識をつくる ～朝の会でのスピーチの活動～

現6年生では、話す側・聞く側双方の力を高めていく意図をもって、朝の会でのスピーチが継続して行われている。スピーチを通して、話題や伝え方等を工夫しながら話すことや、必ず相手に感想を返そうとする当事者意識をもった聞き方を身に付けることを目指している。スピーチ後には、誰が当たっても感想を返せるようにする場が設定され、受け取ったことを相手に返す力と気持ちの育成が図られている。また、スピーチや発言を行った児童に対して、教師が肯定的な声かけや価値付けの言葉かけを必ず行っていることも、児童の自信や意欲、表現力等の向上につながっていると考えられる。

よりよい人間関係づくりの基盤をつくること、その上で様々な他者とつながり合いながら、自己の考えを説明する・伝え合うことを通して学びを深めていく。そうした機会を日常に数多く設定し、積み上げていくことが、学習方略や非認知能力の着実な育成にもつながっていると考えられる。

# 目指す姿の明確化と適切な見取りで児童を育成 ～米子市立明道小学校～

## 1 とっとり学力・学習状況調査の状況

4、5年生の学習方略の数値は、ほぼ全ての項目で鳥取県平均を上回っている。特に、主体的・対話的で深い学びの実施、認知的方略、努力調整方略の数値が高い。6年生の学習方略は、昨年度からの変化量の数値で、全体的に向上傾向が見られる。

昨年度からの学力レベルの伸びも見られる。上位層が多い傾向がある。



自分の考えを伝え合う

## 2 効果があると考えられる取組

### (1) 校内研究の充実と授業改善

#### ① 語彙を豊かにし、伝える力を育成

校内研究の先導教科である国語の授業づくりにおいて、文学的な文章を読むことに重点を置いて研究を進めている。その中で「初読・音読」「長文読解」に取り組む機会も設け、児童の読みの力を高め語彙を豊かにすることを目指している。そうして身に付けた力をもとに、自分の思いや考えを相手に正しくわかりやすく伝える力を育成することに取り組んでいる。

このような日々の積み重ねが、主体的・対話的で深い学びの実施の数値が高いことにつながっていると考えられる。

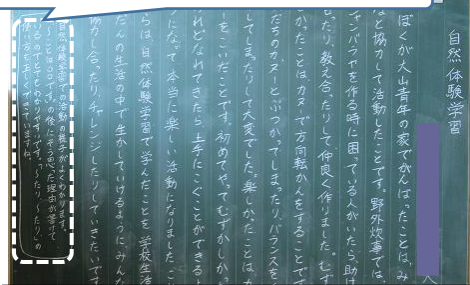


読みの力を高め、自分の考えを表現

#### ② 「書く力」の育成

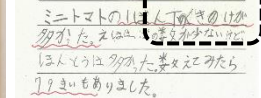
「作文黒板」「100マス作文」の取組を行い、書く力の育成にも取り組んでいる。書く力の育成は、生活科カード等の指導を通して、低学年から書く視点を明確にした指導を行っている。

「～たり、～たり」の使い方も正しくできています。



国語の視点で評価言が書き加えられた作文黒板

同じくきでも下の方が、毛がおおいのはおどろきです。  
・79まいのはっぱはこれからふえるのか、楽しみです。



生活科カード

#### ③ 指導と評価の一体化を意識した授業

日々の授業や学習活動を行う際は、教科のねらいに即した目指す姿を明確にし、育てたい力を常に意識するようにしている。そうすることで、児童の様相を見取り、形成的評価を適切に行うことができるようになる。作文黒板や生活科カードなどの担任のコメントも、各教科で育てる力を意識したものになるよう心掛けている。学び合う場を設定したり、支援をしたりすることで、児童一人一人が自ら理解し、考える力を育むことができ、児童自身も自分の成長をメタ認知することができる。このような経験の積み重ねが、認知的方略、努力調整方略の力を育成することにつながっていると考えられる。

#### ④ 自学コーナーの設置

各自が家庭学習で取り組んだ自学の中から、テーマ設定やまとめ方等、手本となる自学ノートを掲示するコーナーを教室外に設置し、他の学年のものも参考にできるように



評価コメントを書き加えて掲示する自学コーナー



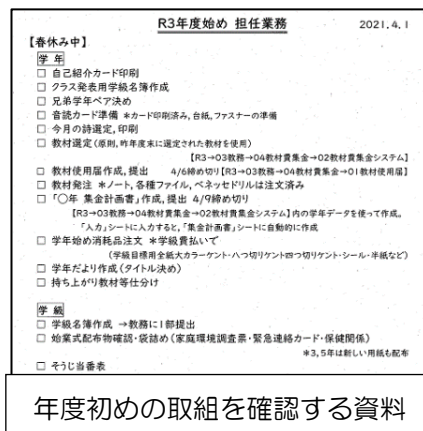
している。どのような良さがあるのか、担任のコメントを入れて伝えるようにしている。

このように、ねらいとする姿を明確にし、それを達成できるよう目的をもって指導していくことが、学力の積み上げとなり、学力レベルを高めたり伸ばしたりすることにつながると思う。

## (2) 子どもの学びの環境を全校で統一

### ① 年度初めの確認事項をもとにセルフチェック

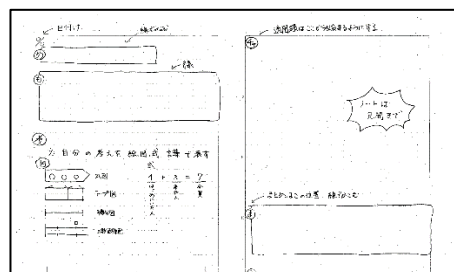
経験年数、在籍年数に関係なく学級経営に取り組むことができるよう、基盤となる学習環境、教室環境を校内で統一している。さらに、共通して取り組む内容をまとめて提示しておくことで、年度当初の確認のみで終わらせるのではなく、学期ごとや行事の際に、担任自身が状況を振り返り、教室環境や指導について見つけ直す際のチェックリストとしても活用している。



年度初めの取組を確認する資料

### ② 学習規律の統一、指導の継続

授業開始、授業後のあいさつの仕方やノート指導も全校で統一するようにしている。そうすることで、児童は、学年が変わっても、同じように学習に向かうことができる



算数ノートの使い方



板書の構造化を共通理解

ようになる。改めてノートの使い方などの指導をする必要がなくなり、年度当初から、各教科の学習内容の指導に入ることができるよさがある。

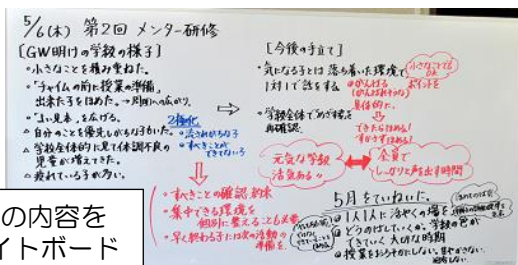
## (3) 担任個々の学級経営力向上を図る

### ① 校内での自主メンター研修の実施

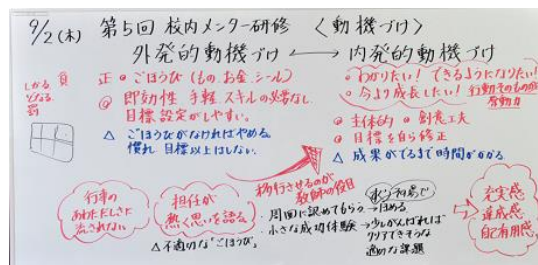
月に1回を基本としてあらかじめ実施日を設定しておき、校内で自主メンター研修を行っている。開催時期や若手教員の状況に合わせてながら研修内容を決定し、校内教員が協力をして講師を務め、研修を実施している。



メンター研修で話し合う様子



メンター研修の内容をまとめたホワイトボード



### ② 授業改善のポイントを共有し、日々の実践につなげる

校内授業研究会での指導助言の内容や学校訪問での指導内容を教務主任が資料としてまとめ、次のステップへ進むためのポイントを全教職員で共有し、確実な実践につなげている。そうすることで、1回ごとの校内研究がつながり、さらには、日々の授業実践ともつながり、教員の指導力向上につながっている。

# 全職員での共通理解・指導の徹底で児童の力を育成 ～米子市立五千石小学校～

## 1 とっとり学力・学習状況調査の状況

4、5、6年生の学習方略の数値が、ほぼ全てにおいて鳥取県平均を上回っている。特に、主体的・対話的で深い学びの実施、認知的方略の数値が高い。その他、努力調整方略、プランニング方略や柔軟的方略も高い傾向が見られる。

学力レベルの伸びも見られる。中位層、上位層が多い傾向がある。

## 2 効果があると考えられる取組

### (1) 「めあてーまとめ・振り返り」のある授業づくりの徹底

#### ① 「めあてーまとめ・振り返り」の質の向上

45分の毎時間の授業を大切に行うように全職員で心掛けている。校内研究の先導教科である国語の授業では、単元のゴールを意識した授業づくりをすることで、1時間ごとの学習内容や学習活動を焦点化して実践することにつながっている。また、算数の授業では、適用題の時間を10分確保できるようタイムマネジメントを意識した授業づくりを実施している。他教科でも「めあてーまとめ・振り返り」を意識した授業づくりを進めている。

さらに、「めあてーまとめ・振り返り」の質の向上にも取り組んでいる。何をどのように表現することを目指すのかを明確にしためあてを児童と共有したり、「まとめ」と「振り返り」の捉え方を全職員で共通理解したりし、授業の中で実践している。

- ・まとめはめあての答え。キーワードをつなげて書く。
- ・振り返りは振り返りの視点を共有（振り返りは自分との対話）

#### ② 振り返り場面でタブレットを活用

めあてに対する答えをまとめとして表現し、さらに自己の学びを振り返り、それぞれ自分の言葉でまとめていく経験を日々の授業の中で積み上げている。振り返り場面でタブレット端末を活用してドライブに残していくことで、これまでの振り返りや他教科の振り返りを確かめたり参考にしたりすることができるようにしている。

このように、自分自身を見つめ直したりよりよいものを見い出したりする経験が、認知的方略の力を育成することにつながっていると考えられる。

★ふりかえりのポイント★

- 「**まとめ**」をつかって、**もんだい**がとけたこと
- よい考え**をはっけんしたこと
- 友だちの考え方**からきづいたこと
- 自分のまだこま**まっていること
- 自分がレベルアップ**したこと
- 生活の中で、つかえそう**なこと

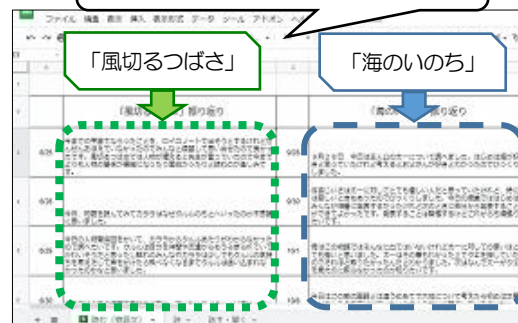
振り返りの視点を共有

「☆ための」という言葉をキーワードにまとめを考える。



キーワードをもとにまとめる

スプレッドシートを活用し、物語文の振り返りをまとめ、積み上げている。



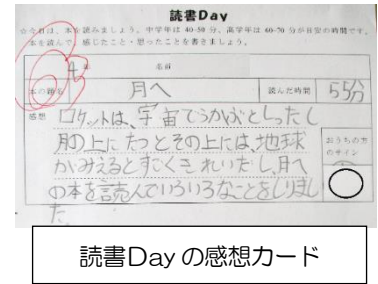
タブレットを活用した振り返り



## (2) 基礎学力を育成する取組を継続

### ① 読書活動の推進

全校での取組として、毎月1回、読書Dayを設定し、本を読んで感想をまとめる活動を行っている。休憩時間に自由に本を借りるのではなく、担任も一緒に図書館へ行く時間を設定し、本を選んで借りるようにすることで、学年に応じた本を選書できるようにしている。本を読んで終わりにするのではなく、感想をカードに記入し、読書Dayの記録として残すことができるようにしている。



読書Dayの感想カード

### ② 「読み、書き、計算」のスキルアップ

週1回、新聞社より配信される新聞プリントを活用し、内容を読み取ったり考えを書いたりする取組を行っている。また、「五千石っ子ドリル」を作成し、計算力の習熟を目指した取組も行っている。

### ③ 「書く力」を鍛える取組

毎日、毎時間、振り返りの時間を確保するよう努め、児童が自分の言葉で表現することを積み重ねることで、書く力の育成につながっている。書く力の育成は、低学年の時から徹底しており、振り返りや生活科カードで書く量や書くスピードを鍛える取組を継続している。



タブレットを活用して新聞プリントに取り組む

### ④ 毎時間の対話活動

学習時間内には、対話活動を必ず設定するようにしている。1時間のうちに1回は、自分の考えや思いをアウトプットする機会を設定するよう努めている。

このような基礎学力を育成する取組や対話を重視した学習活動を取り入れることが、主体的・対話的で深い学びの実施の数値が高いという結果や学力の伸びにつながっていると考えられる。

## (3) 学びに向かう態度を育成する取組

### ① 「五千石っ子10カ条」を児童と共有

生活面などの約束事を10カ条としてまとめ、児童と共有した上で、指導を徹底している。そうすることで、児童が落ち着いて学校生活や学習に向かうことができる環境を整えることにつながっていると考えられる。

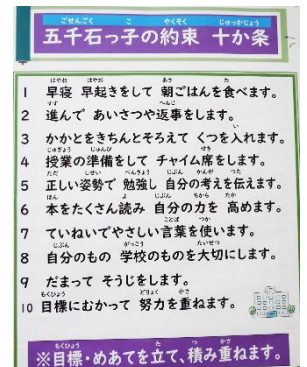
### ② 家庭生活スケジュール

3年生から6年生が、毎月、1週間、「家庭生活スケジュール」の取組を実施している。1週間の生活スケジュールを自分で考えて計画し、毎日、振り返りを行う。振り返りに対して、担任からのコメントを返したり、1週間の終わりには家庭の方からのコメントも記入してもらったりしている。

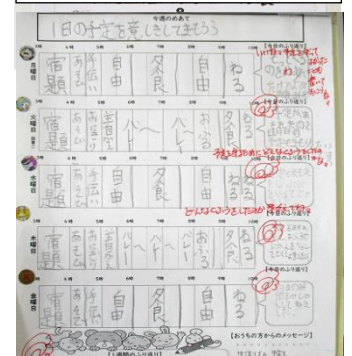
### ③ 計画、実施、振り返りの積み重ね

学校行事等でも、目指す姿を共有し、児童が自ら計画を立て振り返り、次へ生かす活動を行っている。その際、目指す姿や振り返る視点に沿って担任の形成的評価が行われている。

このように、安心して学び合うことができる学級の中で、自分を表現したり思いを伝え合ったりすることを通して、自分自身を高める経験を積み重ねることは、プランニング方略や柔軟的方略の育成につながると考えられる。



五千石っ子の約束 十か条



家庭生活スケジュール表



# 「聴く力」「書く力」の育成を通して、 全員が学びを実感できる授業を目指す ～境港市立上道小学校～

## 1 とっとり学力・学習状況調査の状況

4、5、6年生の努力調整方略の数値が高い。また、主体的・対話的で深い学びの実施、認知的方略の数値も全ての学年で鳥取県平均を上回っている。学力レベルの下位層が少ない傾向がある。

## 2 効果があると考えられる取組

### (1) 日々の授業の充実と指導の継続

#### ①対話を意識したペア活動・グループ活動

教員の話や友達の意見を聴く時などは、姿勢だけでなく、「考えながら聴く」ことを目指して指導を続けている。そのため、日々の授業において、対話を意識したペア活動やグループ活動を積極的に取り入れている。道徳を先導教科とした校内研究を通して学んだ「問い返し」を他教科でも実践している。教員が「なぜ?」「どうして?」と問うことで、自分の考えを文章化して表現しようとする児童を育てている。また、「もうちょっと詳しく言って」と問い返すことで、友達の考えを広げて発言したり、板書や図を使って説明しようしたりする児童を育てている。教師が児童の発言に対して理由を尋ねる姿を見て、低学年の授業でも、児童同士で友達の発言に対して「どういうこと?」と尋ね合うようになってきている。



グループ活動で考えを聞き合う

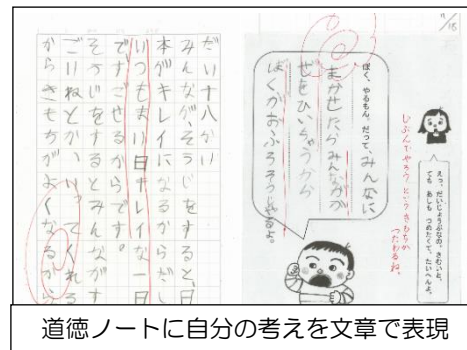
教え合う時には、答えではなくヒントを言うように1年生のときから指導している。ヒントを出す際は、「次どうするの?」という声かけを行い、教えてもらう児童にも考えさせるよう指導している。さらに、「今の〇〇さんの意見を隣の人に言ってごらん。」と投げかけて、友達の考えを他の友達に伝える場面を設定し、自分の言葉で説明する力を育成している。「分からない」と素直に言える児童に対して、「分かる人」が教えることができる支持的風土が低学年から定着していることもあり、得意な児童だけでなく、苦手な児童も、自分なりに質問をしたり説明したりする姿が見られるようになってきている。

児童は、日々の授業の中で、疑問や問いを、説明を聞いたり話し合ったりしながら解決する経験を積み重ねることができている。このような取組の継続が、苦手な児童の割合が少ない状況につながっていると考える。また、わからないことを解決しようとする姿勢が、努力調整方略の数値にも関係していると考えられる。

#### ②「書く力」を育成する機会の充実

学習展開の中で、考えたことや理解したことを聞いて終わりにするのではなく、自分のフィルターを通してアウトプットする機会を積極的に設けるようにしている。道徳の授業で自分の考えを表現するために用いている道徳ノートや、生活科の学習で観察記録などをまとめる生活科カードを書く時などは、短い言葉で書くのではなく、文章として記述できるように、1年生の段階から継続して指導している。その際、どこまでできればよいのかを明確にして児童と共有したり、よい考えを共有する場を設定したりしている。また、低学年から、自力解決の時間を確保するこ

とを意識して授業をしている。何も書けないで終わるのではなく、途中まででもよいので書くよう指導することで無答をなくし、自分の考えが持てるようにしている。そうすることで、苦手な子も自分なりの考えを書こうとする姿や記述問題に対してもあきらめないうり組もうとする様子が多く見られるようになってきている。さらに、地域や家庭の協力もあり、ほぼ全ての児童が宿題を提出できる状況が実現されている。



道徳ノートに自分の考えを文章で表現

このように、児童が自分の力で考え、表現することができるように継続して指導することが学力の定着を図ることや認知的方略を高めることにつながっていると考えられる。

## (2) 自治力を高める取組

### ① 児童が評価しやすい学級力アンケート項目の設定

自治力を高める取組として、学級力アンケートを継続して実施している。アンケート項目が、わかりやすく具体的な言葉を用いて作成されており、できているのかできていないのかを児童が判断しやすくなっている。児童はアンケートをもとに自分たちの生活を振り返って自己評価し、学級の状況を的確に捉えることができる。

### ② 課題発見、解決の話合いの積み重ね

年間4回、自分たちの実態である学級力アンケートをもとに、学級の課題を見つけ、よりよい方向へ高めていく方法を自分たちで考え、日々の実践につなげている。アンケート結果のチャート図を教室掲示にも活用し、次の取組をいつでも確認できるようにしているだけでなく、これまでを振り返ったり成長を確認したりすることもできるようにしている。

このような経験の積み重ねにより、問題発見、課題解決の思考の流れが児童の中に育っていると考えられる。自分たちで話し合い、よりよいものを目指している学級だからこそ、児童が安心して学ぶことができる環境となり、主体的に、友達と関わり合いながら高め合うことができる主体的・対話的で深い学びの実施につながっていると考えられる。

年 級 名 前	年 級 名 前
<p>◆ 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;友だちのたのしみについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p>	<p>◆ 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;友だちのたのしみについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p> <p>&lt;おもしろいことについて&gt; ① 学校生活のしぐさなどに、1～4の数字は、基準を対比しよう。 1:とても、あてはまる 2:まあ、あてはまる 3:まあ、あてはまらない 4:まったく、あてはまらない</p>

学級力アンケート  
(左：低学年用、右：高学年用)

## (3) 全職員で共通理解を図った指導の徹底

### ① 校内研修体制の充実

若手教員の「困っている」や「わからない」に対して学ぶ場を設定するため、若手と中堅がグループになり、共同で研修計画を立てている。教科指導だけでなく、放課後に校内の教室を視点を持ちながら見て回るといった、教室掲示等についての研修も実際に行った。

このような取組により、職員間の同僚性も高まり、連携を図ることができるようになった。職員の連携が全校統一の指導となり、児童が安心して登校できる学校づくりにつながると考える。

### ② 校内研究の取組を継続

校内研究の先導教科が変わっても、研究を通して学んだ理論や指導技術、児童と共有した学び方が積み上げられている。そうすることで、児童の学びも積み上げられ、学力の向上にもつながっていくと考えられる。



意見を出し合ってまとめた校内研修



## 第5章

# 質問紙調査結果から みられる傾向

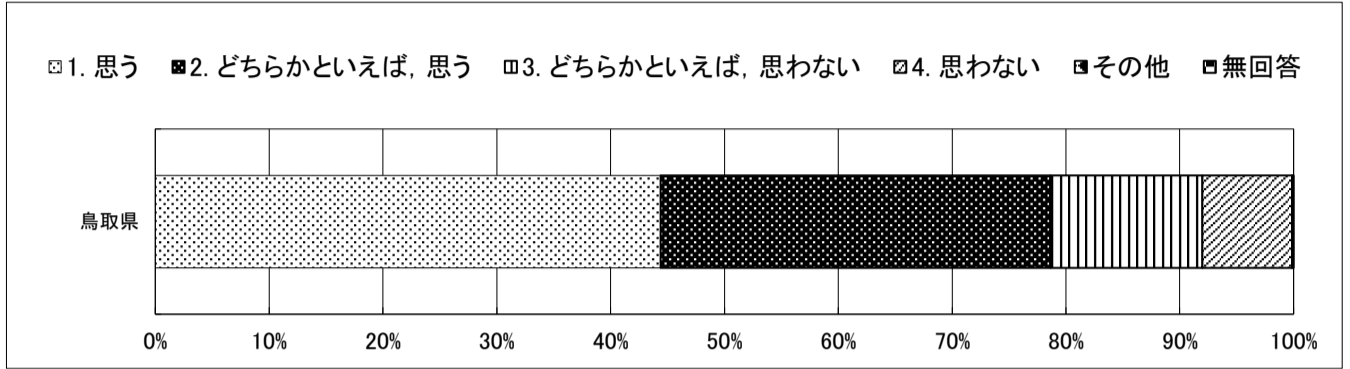
児童生徒質問紙調査から、小学4年生から中学1年生に共通する質問項目を抽出した結果を掲載しています。各学校の質問紙調査の結果と合わせて分析し、指導に生かしましょう。



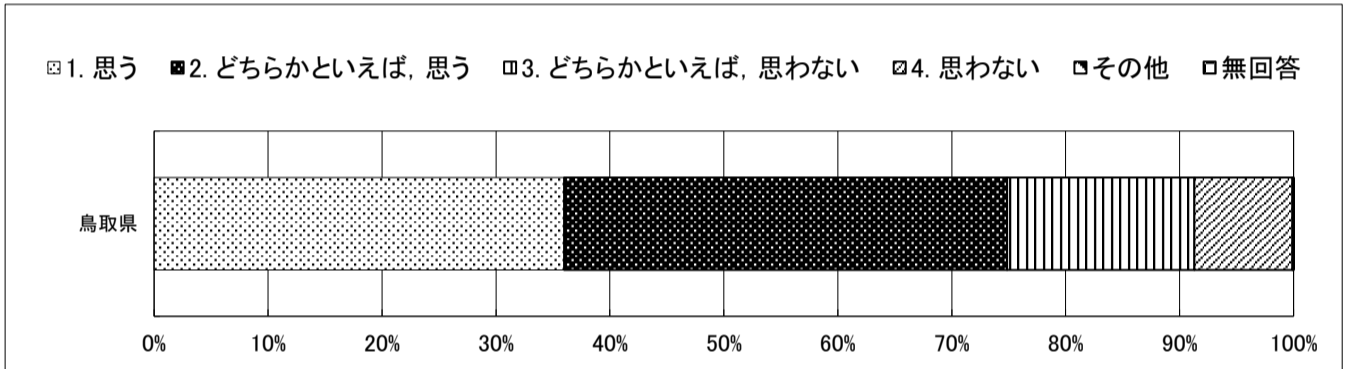
【自分自身のこと】

自分には、よいところがあると思いますか

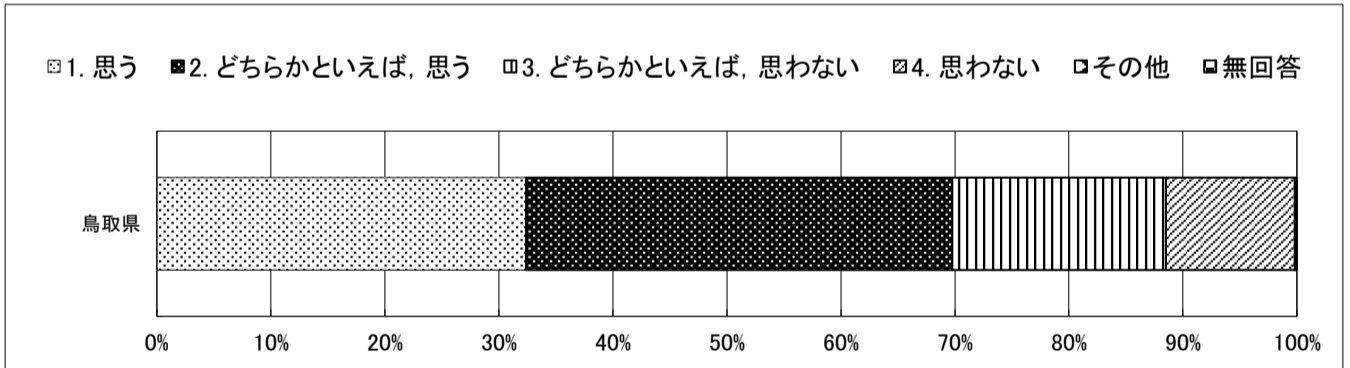
小学4年	1. 思う 2. どちらかといえば、思う 3. どちらかといえば、思わない 4. 思わない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	44.4	34.2	13.4	7.9					0.0	0.1



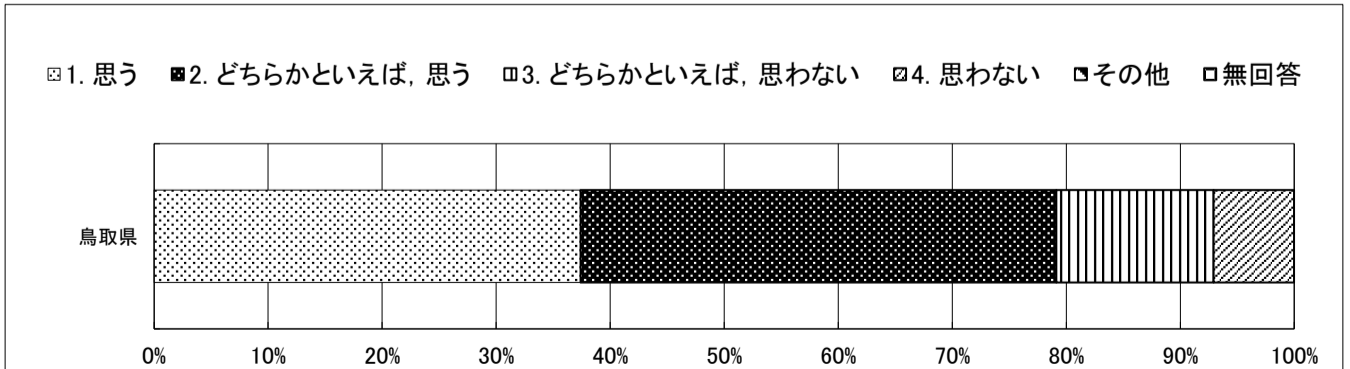
小学5年	1. 思う 2. どちらかといえば、思う 3. どちらかといえば、思わない 4. 思わない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	36.0	38.9	16.5	8.6					0.1	0.0



小学6年	1. 思う 2. どちらかといえば、思う 3. どちらかといえば、思わない 4. 思わない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	32.4	37.4	18.7	11.3					0.0	0.1



中学1年	1. 思う 2. どちらかといえば、思う 3. どちらかといえば、思わない 4. 思わない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	37.4	41.7	13.8	7.1					0.0	0.0



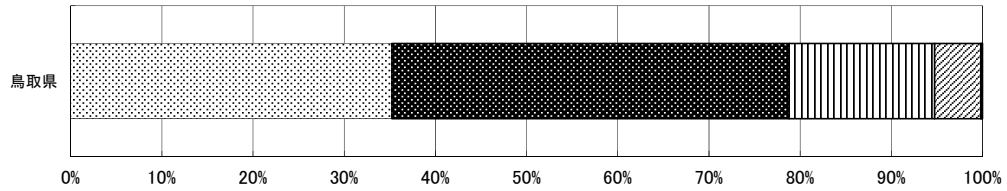


【自分自身のこと】

難しいことでも失敗をおそれないで挑戦していますか

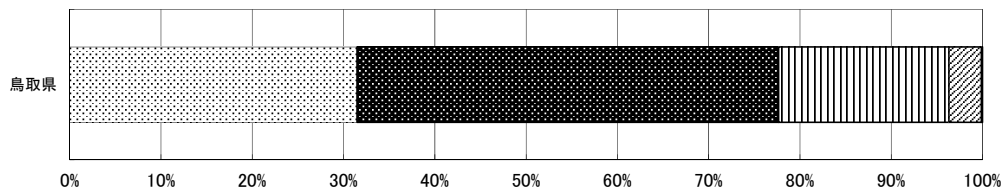
小学4年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. どちらかといえば、していない				4. していない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
鳥取県	35.2	43.6	15.9	5.1									0.0	0.1

☑1. している ☑2. どちらかといえば、している ☑3. どちらかといえば、していない ☑4. していない ☑その他 ☑無回答



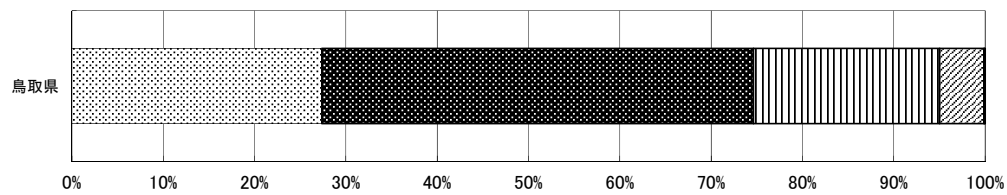
小学5年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. どちらかといえば、していない				4. していない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
鳥取県	31.5	46.2	18.6	3.6									0.0	0.1

☑1. している ☑2. どちらかといえば、している ☑3. どちらかといえば、していない ☑4. していない ☑その他 ☑無回答



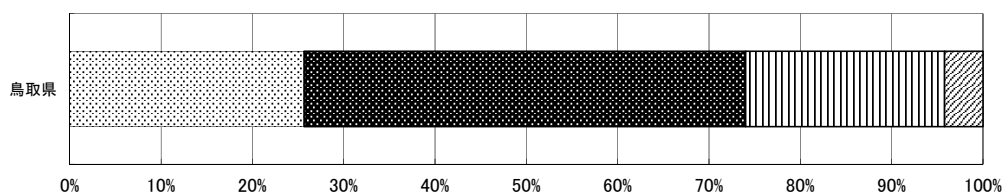
小学6年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. どちらかといえば、していない				4. していない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
鳥取県	27.4	47.3	20.4	4.9									0.0	0.1

☑1. している ☑2. どちらかといえば、している ☑3. どちらかといえば、していない ☑4. していない ☑その他 ☑無回答



中学1年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. どちらかといえば、していない				4. していない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	その他	無回答
鳥取県	25.7	48.4	21.8	4.2									0.0	0.0

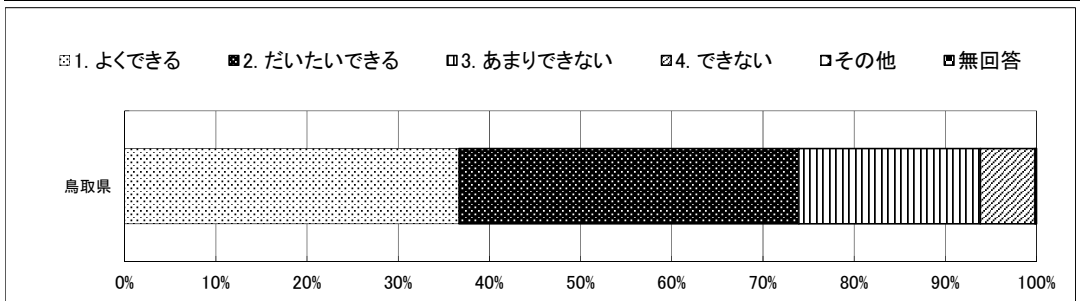
☑1. している ☑2. どちらかといえば、している ☑3. どちらかといえば、していない ☑4. していない ☑その他 ☑無回答



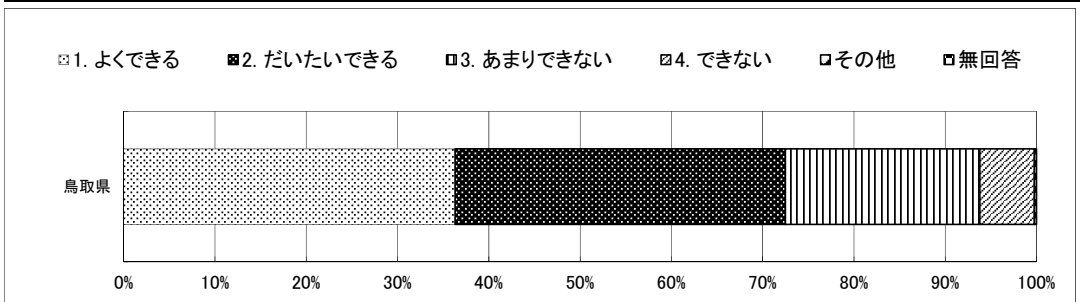
【自分自身のこと】

相手の顔を見て、はっきりあいさつをすることができますか(小学4年)  
 自分からはっきりあいさつをすることができますか(小学5・6年)  
 だれに対しても進んであいさつをすることができますか(中学1年)

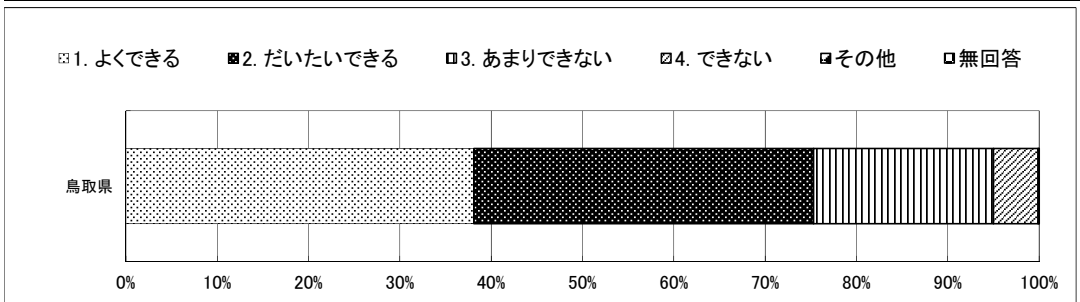
小学4年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	36.7	37.3	19.9	6.0					0.1	0.1



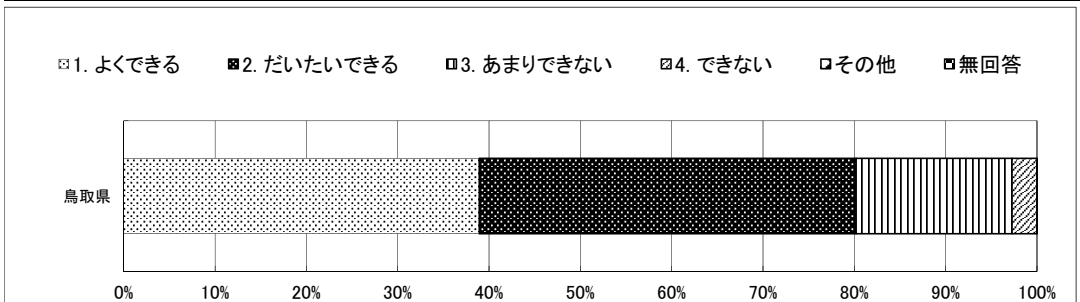
小学5年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	36.3	36.2	21.3	6.0					0.0	0.2



小学6年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	38.1	37.2	19.7	4.9					0.1	0.0



中学1年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	38.9	41.3	17.1	2.7					0.0	0.0

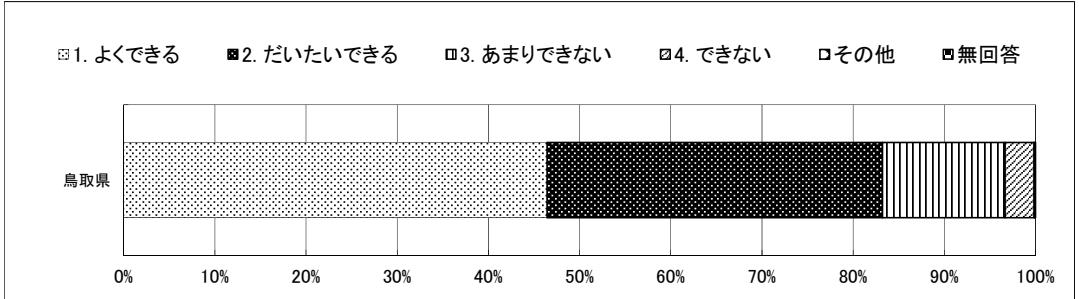




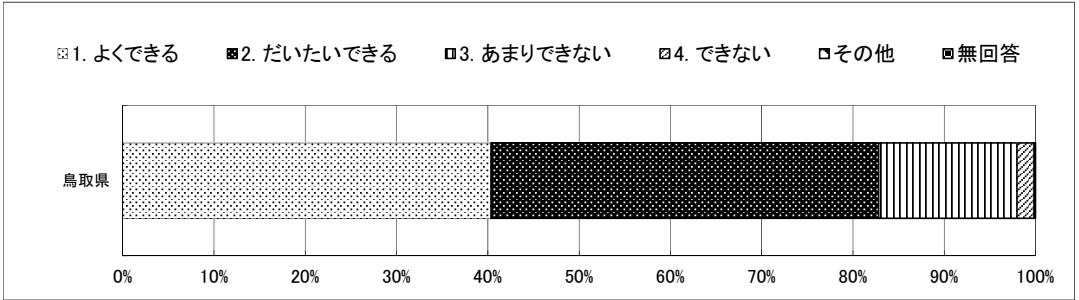
【自分自身のこと】

名前をよばれたら「はい」とはっきり返事をすることができますか

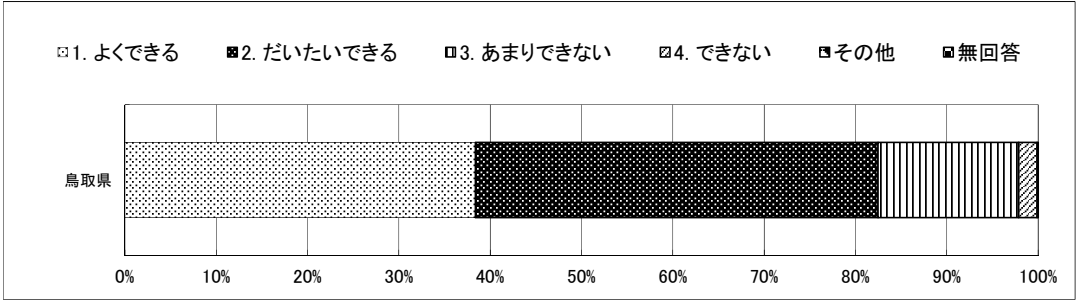
小学4年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	46.4	36.8	13.4	3.2					0.0	0.1



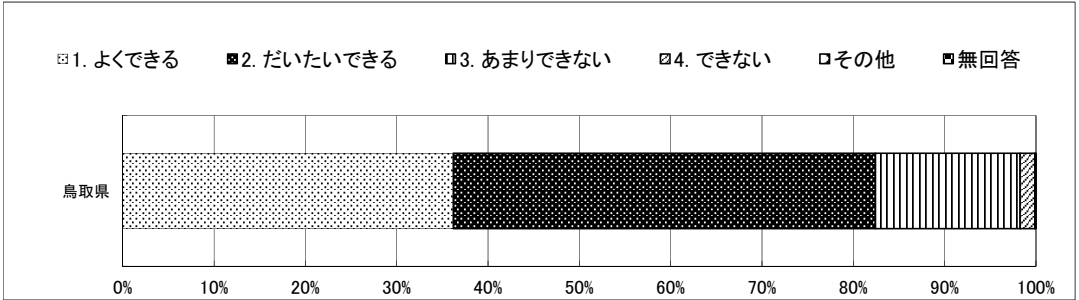
小学5年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	40.4	42.5	15.1	1.9					0.0	0.1



小学6年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	38.4	44.1	15.4	2.0					0.0	0.1



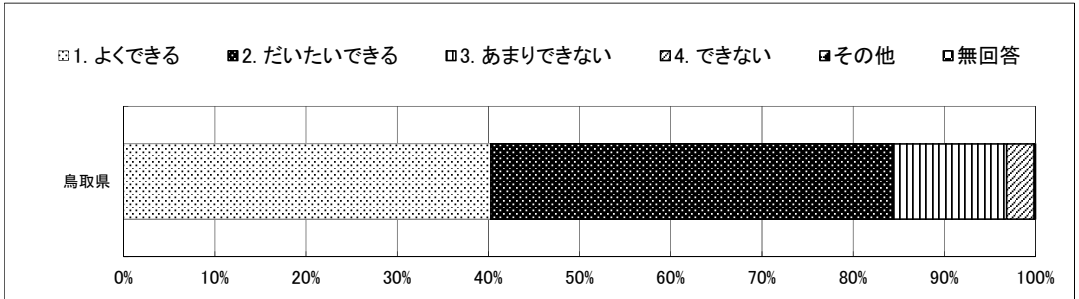
中学1年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	36.2	46.2	15.8	1.6					0.0	0.1



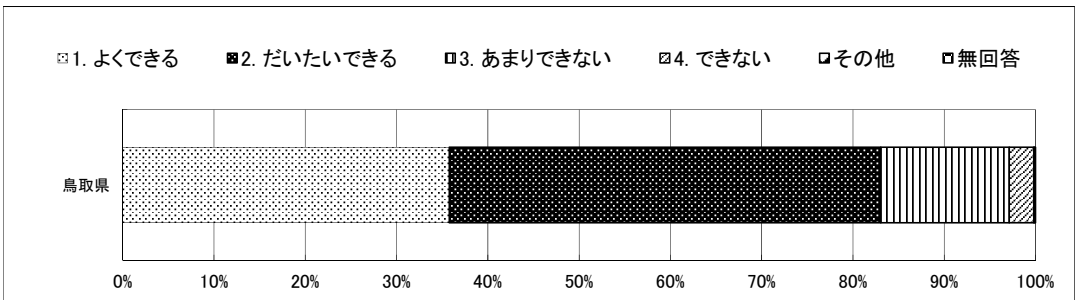
【自分自身のこと】

相手の気持ちを考え、やさしい言葉づかいができていますか(小学4～6年)  
 相手の気持ちやその場の状況を考え、やさしい言葉づかいができていますか(中学1年)

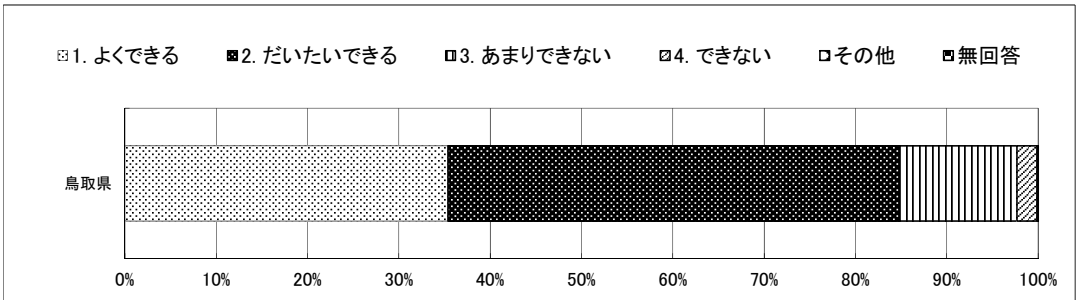
小学4年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	40.3	44.1	12.5	3.0					0.0	0.1



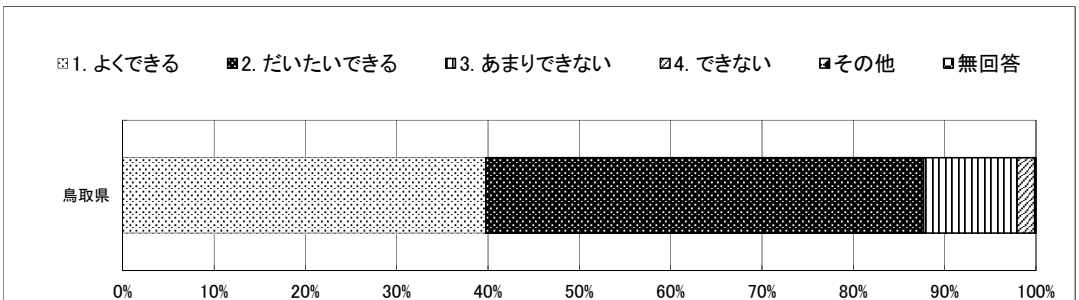
小学5年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	35.8	47.3	14.1	2.7					0.0	0.1



小学6年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	35.4	49.4	12.8	2.2					0.0	0.1



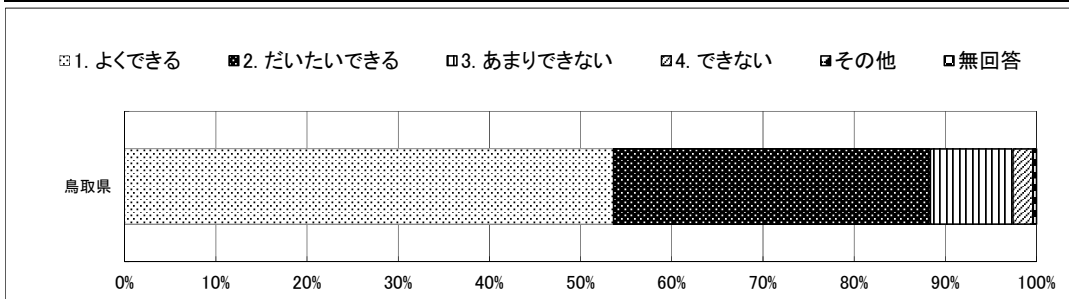
中学1年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	39.8	47.9	10.2	1.9					0.0	0.1



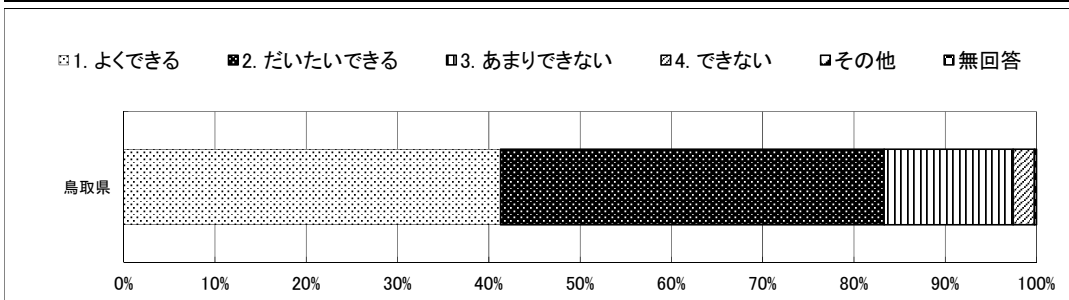
【自分自身のこと】

進んでそうじをし、自分の担当場所をきれいにすることができますか(小学4～6年)  
 進んでそうじや美化活動に取り組み、学校をきれいにすることができますか(中学1年)

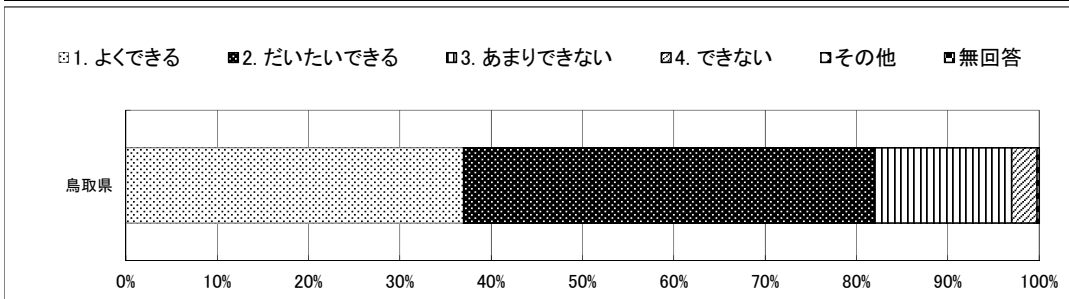
小学4年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	53.6	34.7	9.1	2.2					0.0	0.3



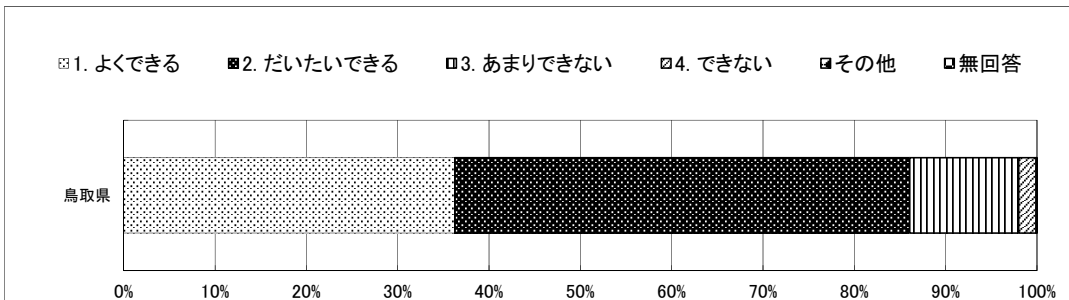
小学5年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	41.3	42.0	14.1	2.3					0.0	0.2



小学6年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	37.0	45.0	15.0	2.8					0.0	0.2



中学1年	1. よくできる 2. だいたいできる 3. あまりできない 4. できない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	36.3	49.8	11.9	1.9					0.0	0.1

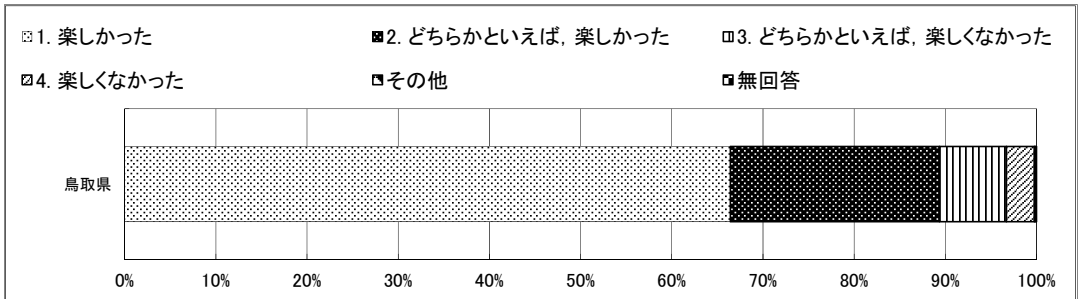




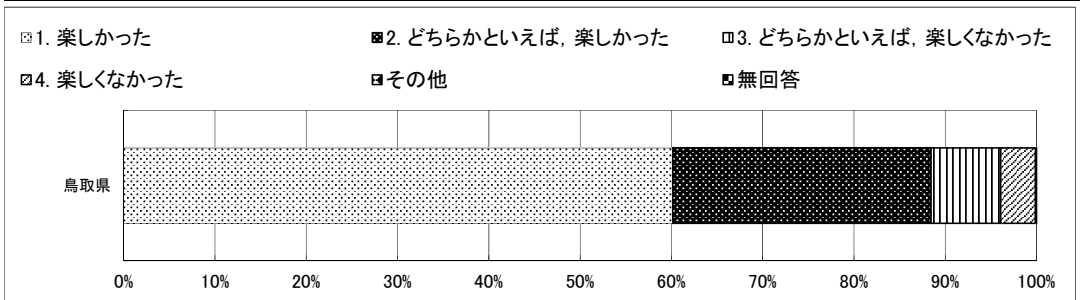
【昨年度の様子】

**昨年度の学級での生活は楽しかったですか**

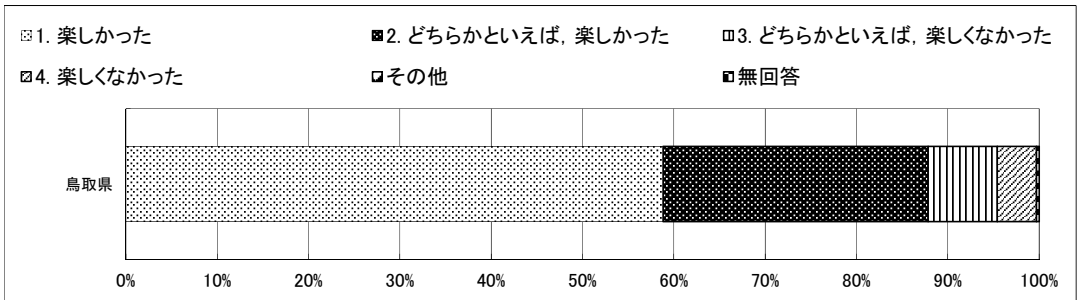
小学4年	1. 楽しかった				2. どちらかといえば、楽しかった				3. どちらかといえば、楽しなかった		4. 楽しなかった
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
鳥取県	66.4	22.9	7.3	3.1					0.1	0.1	



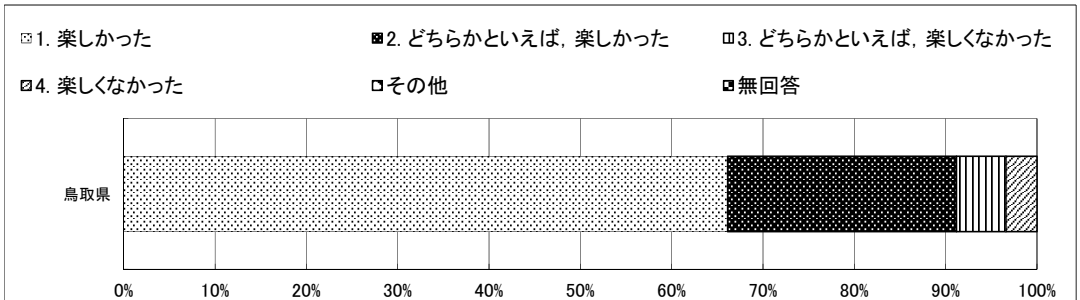
小学5年	1. 楽しかった				2. どちらかといえば、楽しかった				3. どちらかといえば、楽しなかった		4. 楽しなかった
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
鳥取県	60.1	28.3	7.6	3.8					0.0	0.1	



小学6年	1. 楽しかった				2. どちらかといえば、楽しかった				3. どちらかといえば、楽しなかった		4. 楽しなかった
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
鳥取県	58.8	29.0	7.6	4.3					0.0	0.3	



中学1年	1. 楽しかった				2. どちらかといえば、楽しかった				3. どちらかといえば、楽しなかった		4. 楽しなかった
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答	
鳥取県	66.1	25.0	5.4	3.4					0.0	0.0	

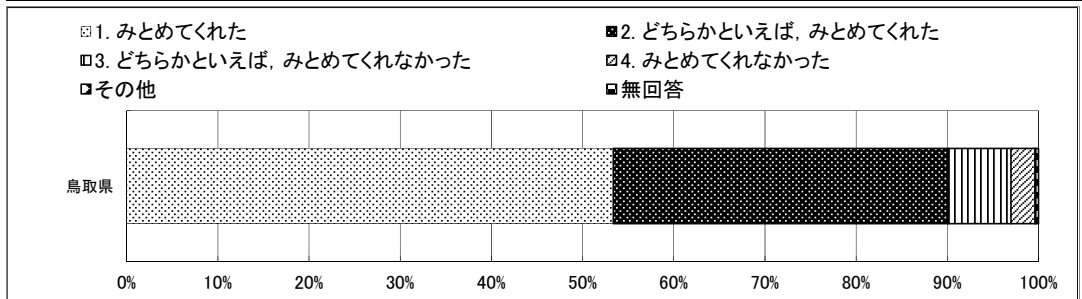




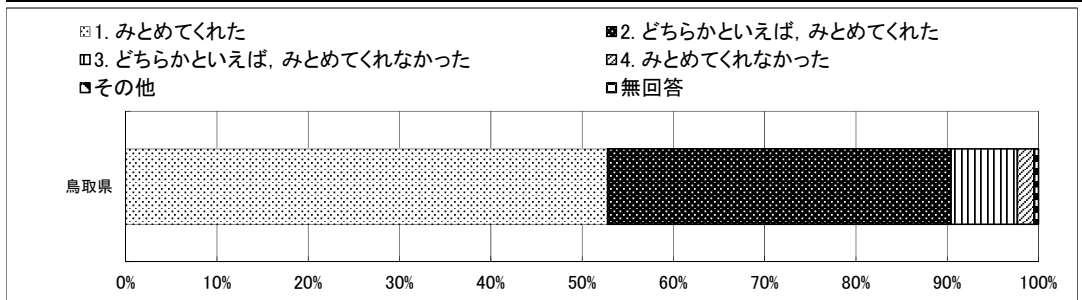
【昨年度の様子】

昨年度、学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか

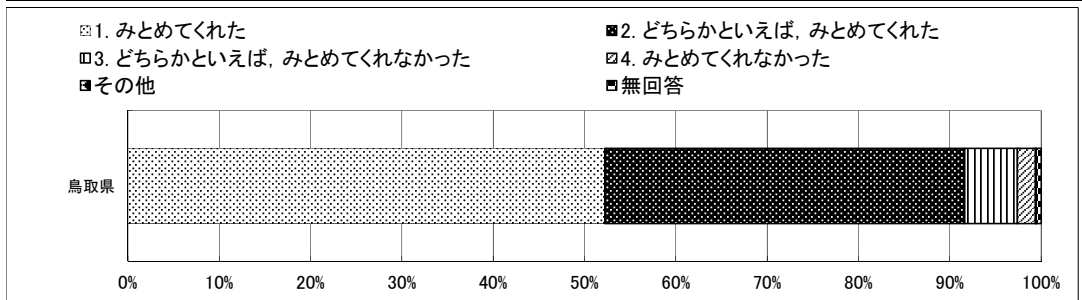
小学4年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	53.4	36.8	6.9	2.6					0.1	0.3



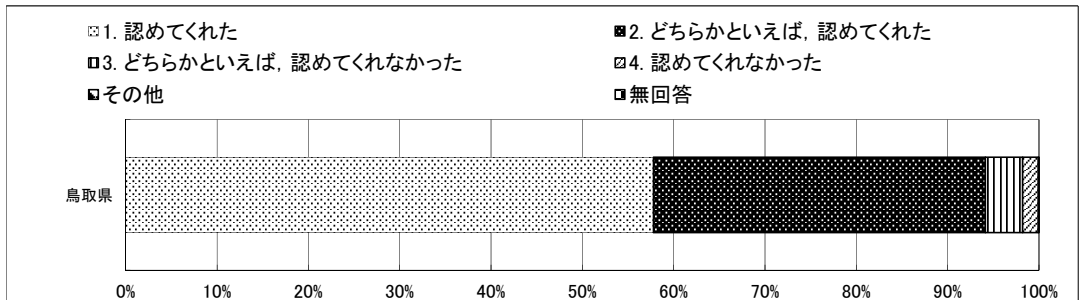
小学5年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	52.8	37.7	7.3	1.8					0.1	0.4



小学6年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	52.2	39.4	5.8	2.0					0.1	0.5



中学1年	1. 認めてくれた 2. どちらかといえば、認めてくれた 3. どちらかといえば、認めてくれなかった 4. 認めてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	57.8	36.3	4.1	1.7					0.0	0.1

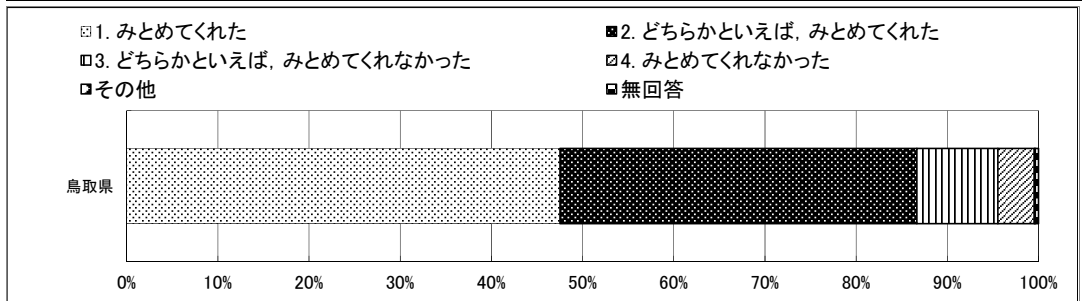




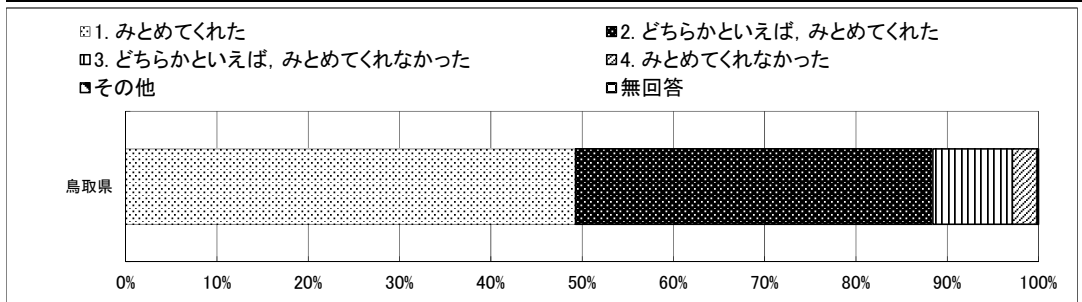
【昨年度の様子】

**昨年度、学校の友だちは自分のよいところを認めてくれましたか**

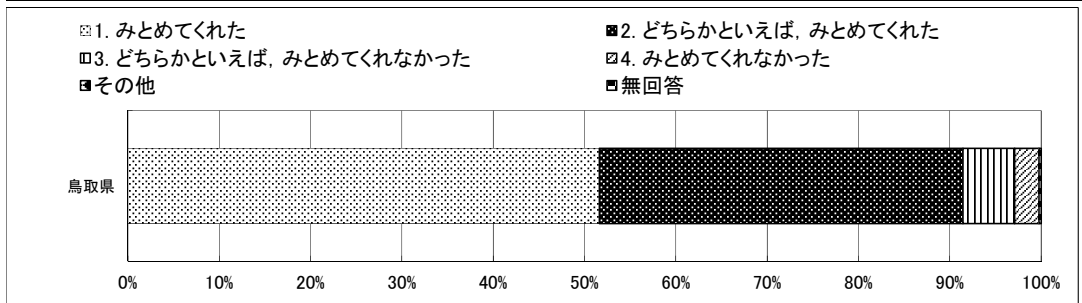
小学4年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	47.5	39.1	8.9	4.0					0.1	0.3



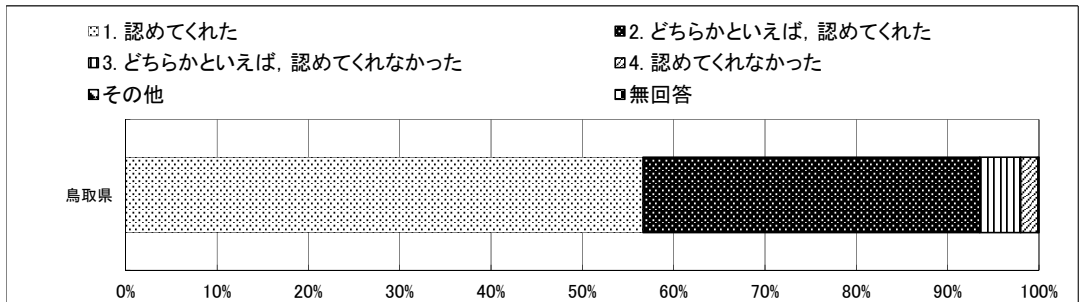
小学5年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	49.3	39.1	8.7	2.7					0.0	0.1



小学6年	1. みとめてくれた 2. どちらかといえば、みとめてくれた 3. どちらかといえば、みとめてくれなかった 4. みとめてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	51.6	39.8	5.7	2.7					0.0	0.2



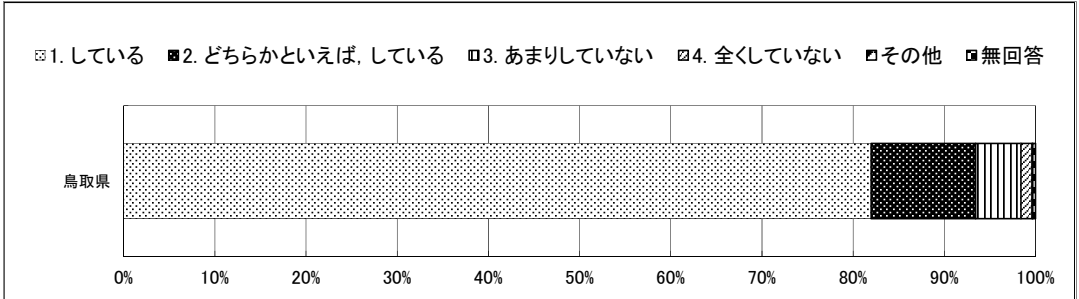
中学1年	1. 認めてくれた 2. どちらかといえば、認めてくれた 3. どちらかといえば、認めてくれなかった 4. 認めてくれなかった									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	56.6	36.9	4.5	1.9					0.0	0.1



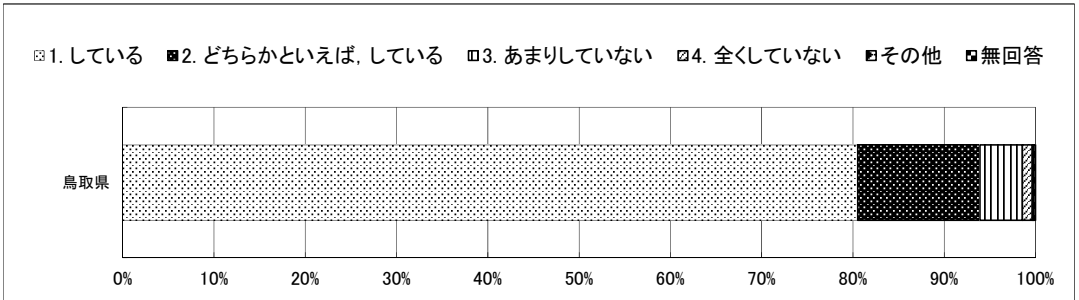
【家庭での生活の様子】

学校の宿題をしていますか

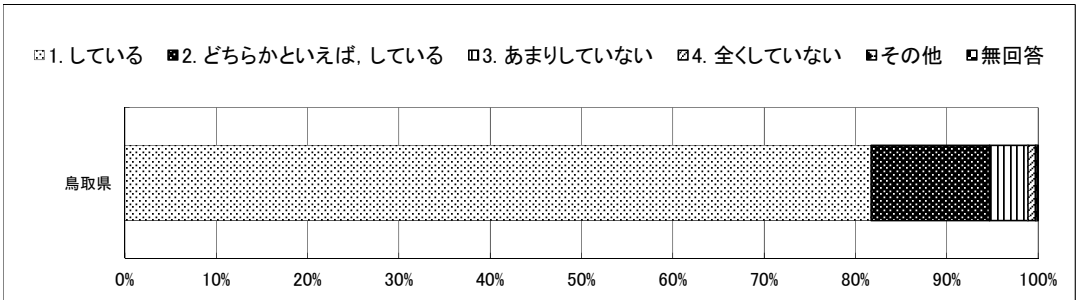
小学4年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. あまりしていない		4. 全くしていない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答		
鳥取県	82.0	11.4	5.0	1.2					0.1	0.3		



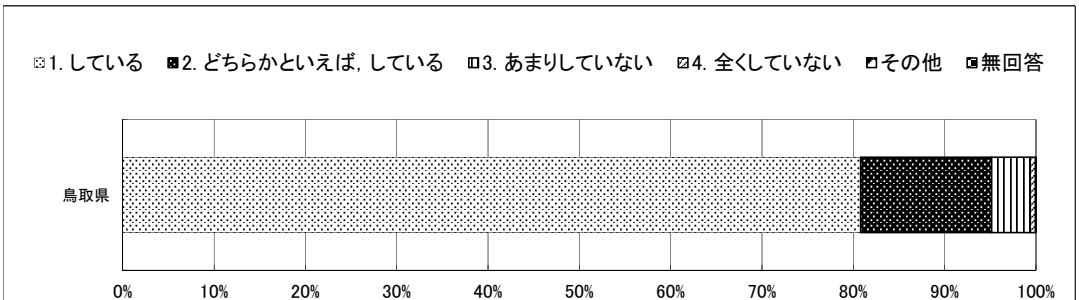
小学5年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. あまりしていない		4. 全くしていない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答		
鳥取県	80.5	13.4	4.6	1.1					0.1	0.2		



小学6年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. あまりしていない		4. 全くしていない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答		
鳥取県	81.7	13.0	4.2	0.8					0.1	0.1		



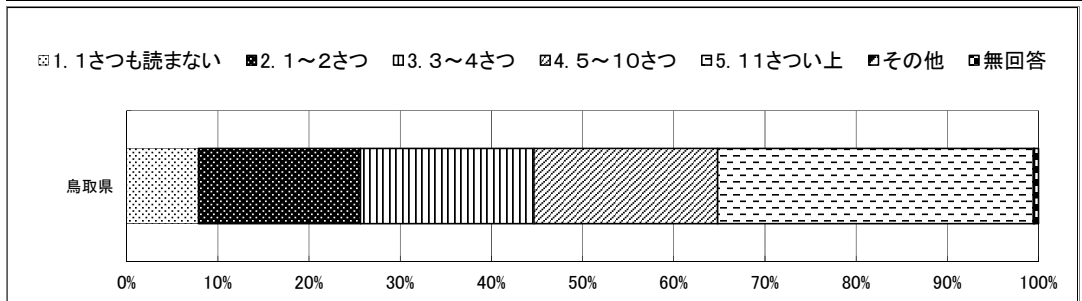
中学1年	1. している				2. どちらかといえば、している				3. あまりしていない		4. 全くしていない	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答		
鳥取県	80.8	14.3	4.2	0.6					0.0	0.1		



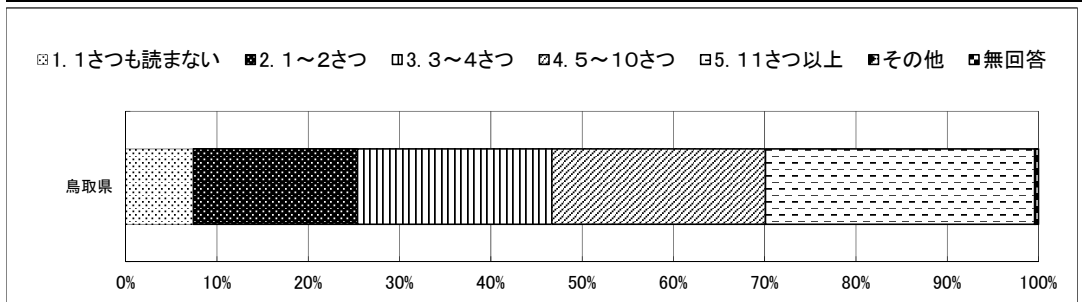
【家庭での生活の様子】

1か月に、何冊くらいの本を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は入りません)

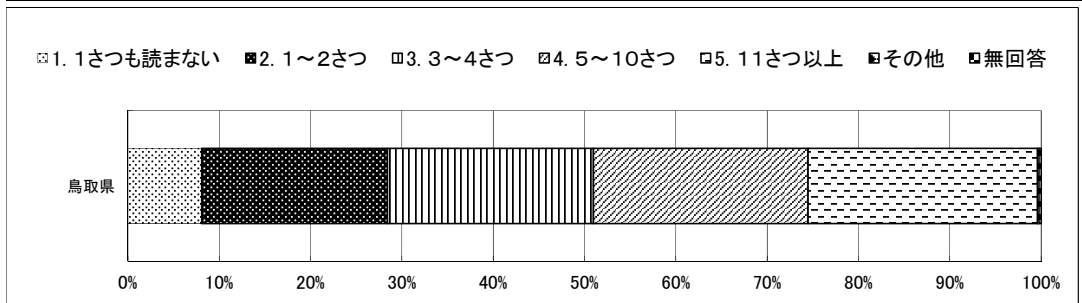
小学4年	1. 1さつも読まない					2. 1~2さつ		3. 3~4さつ		4. 5~10さつ		5. 11さつ以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答			
鳥取県	7.9	17.8	19.0	20.1	34.6					0.1	0.4		



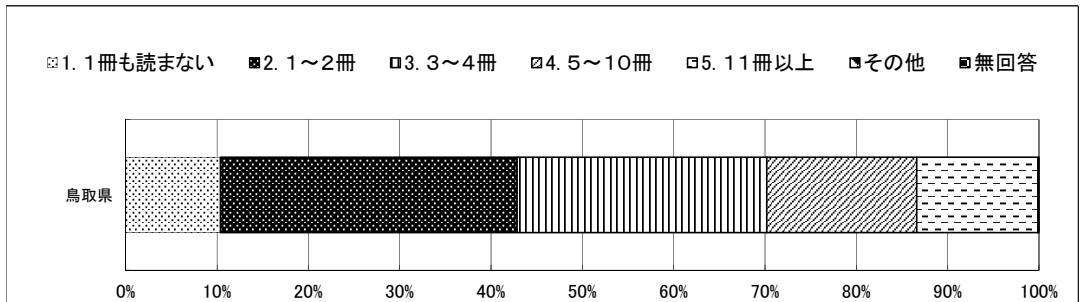
小学5年	1. 1さつも読まない					2. 1~2さつ		3. 3~4さつ		4. 5~10さつ		5. 11さつ以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答			
鳥取県	7.4	18.0	21.3	23.4	29.5				0.1	0.3			



小学6年	1. 1さつも読まない					2. 1~2さつ		3. 3~4さつ		4. 5~10さつ		5. 11さつ以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答			
鳥取県	8.1	20.4	22.6	23.5	25.1				0.2	0.2			



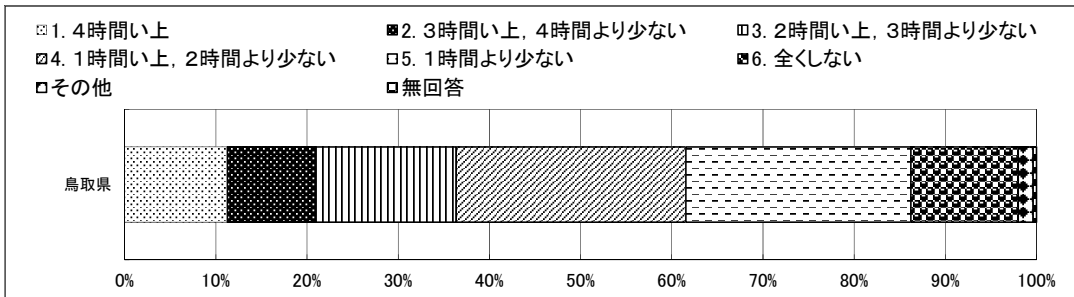
中学1年	1. 1冊も読まない					2. 1~2冊		3. 3~4冊		4. 5~10冊		5. 11冊以上	
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答			
鳥取県	10.4	32.5	27.3	16.4	13.3				0.0	0.1			



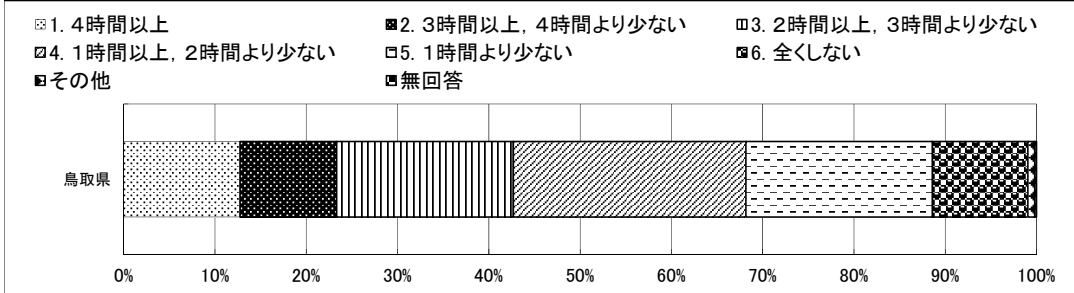
【家庭での生活の様子】

月～金曜日、1日にどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも入ります)をしますか

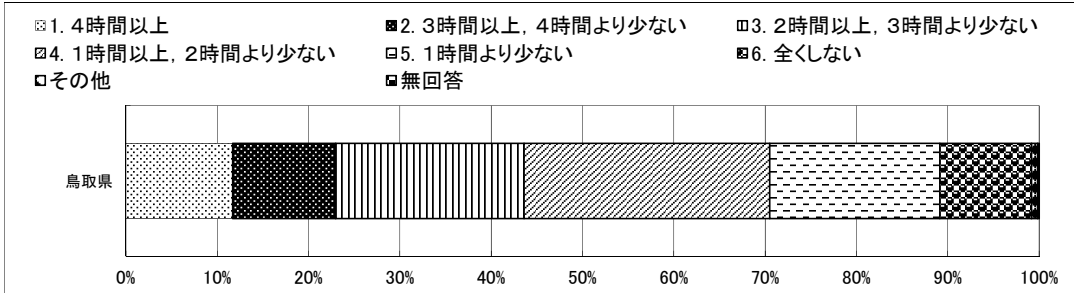
小学4年	1. 4時間以上 2. 3時間以上, 4時間より少ない 3. 2時間以上, 3時間より少ない									
	4. 1時間以上, 2時間より少ない	5. 1時間より少ない	6. 全くしない	7	8	その他	無回答			
鳥取県	11.3	9.7	15.4	25.2	24.7	11.8			1.6	0.4



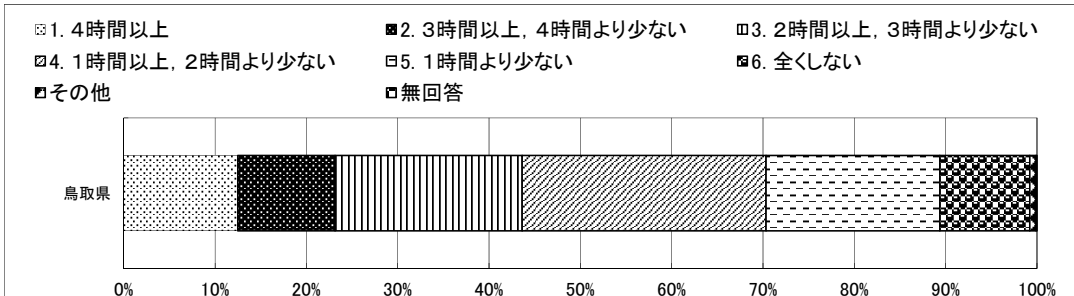
小学5年	1. 4時間以上 2. 3時間以上, 4時間より少ない 3. 2時間以上, 3時間より少ない									
	4. 1時間以上, 2時間より少ない	5. 1時間より少ない	6. 全くしない	7	8	その他	無回答			
鳥取県	12.7	10.6	19.4	25.5	20.4	10.5			0.8	0.2



小学6年	1. 4時間以上 2. 3時間以上, 4時間より少ない 3. 2時間以上, 3時間より少ない									
	4. 1時間以上, 2時間より少ない	5. 1時間より少ない	6. 全くしない	7	8	その他	無回答			
鳥取県	11.7	11.3	20.6	26.9	18.6	10.0			0.7	0.2



中学1年	1. 4時間以上 2. 3時間以上, 4時間より少ない 3. 2時間以上, 3時間より少ない									
	4. 1時間以上, 2時間より少ない	5. 1時間より少ない	6. 全くしない	7	8	その他	無回答			
鳥取県	12.5	10.6	20.5	26.7	19.0	9.8			0.7	0.1

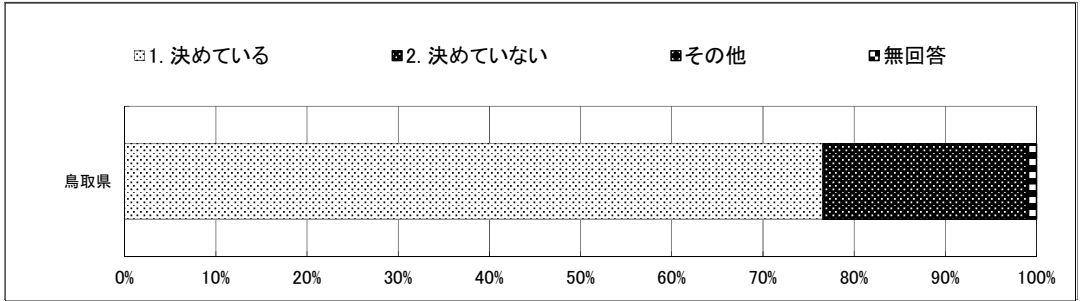




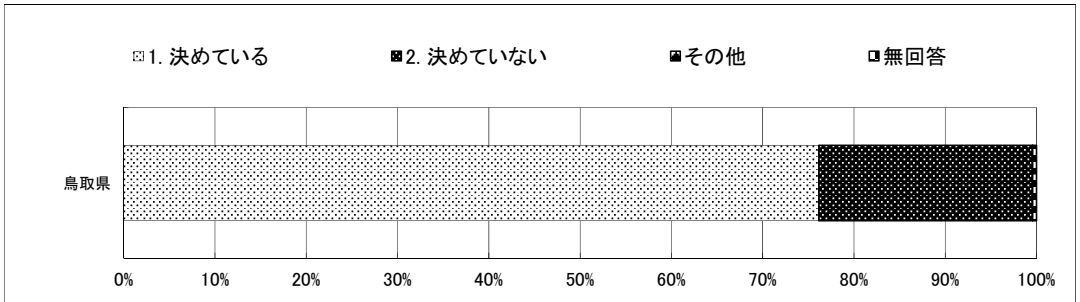
【家庭での生活の様子】

テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも入ります)をすることについて、家の人と約束を決めていますか

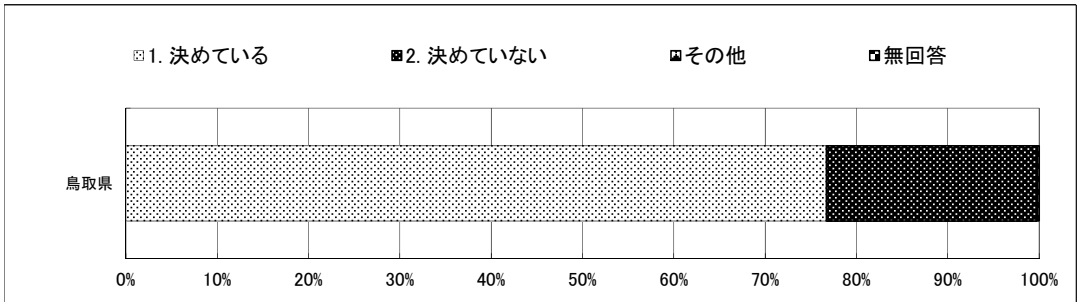
小学4年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	76.6	22.5							0.0	0.9



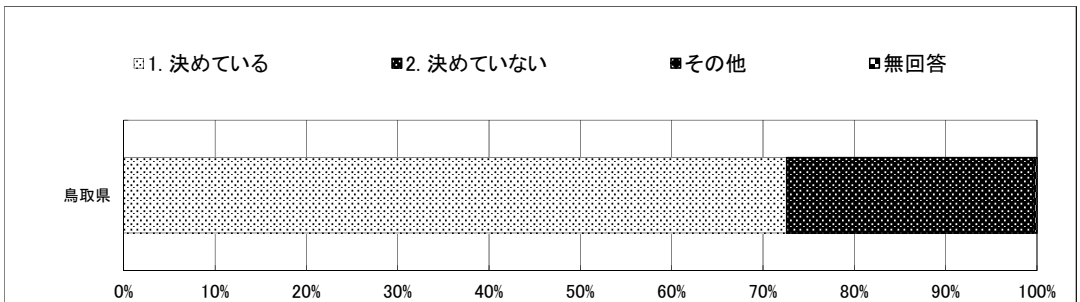
小学5年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	76.2	23.4							0.0	0.4



小学6年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	76.7	23.1							0.0	0.2



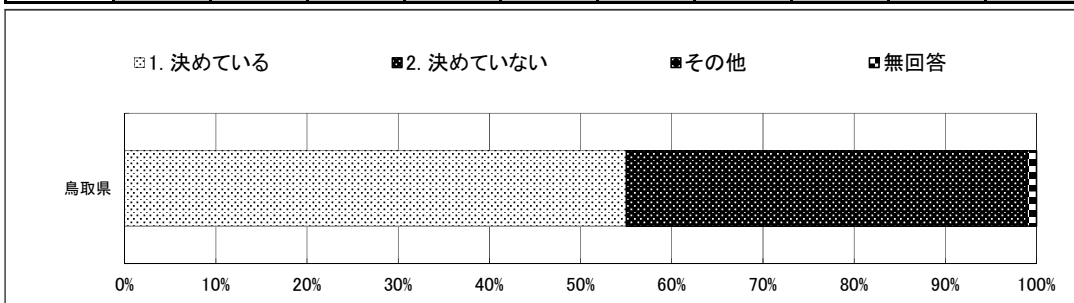
中学1年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	72.6	27.1							0.0	0.3



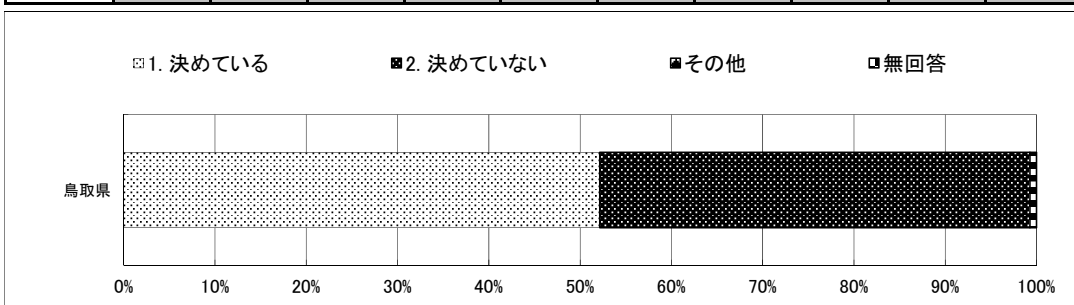
【家庭での生活の様子】

携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすることについて、家の人と約束を決めていますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをすることは入りません)

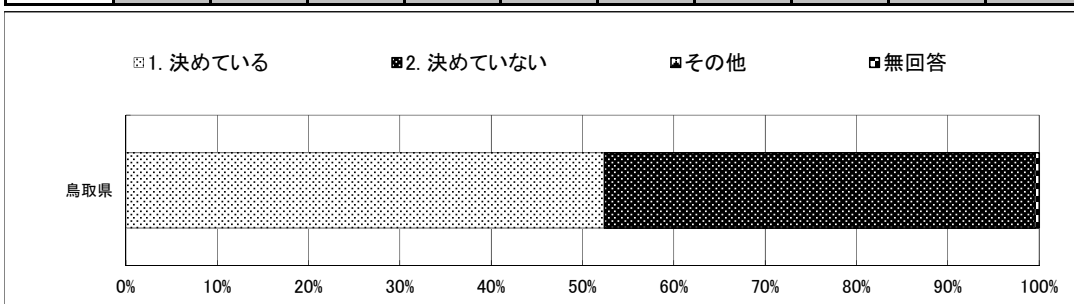
小学4年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	55.0	43.9							0.1	1.0



小学5年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	52.2	47.1							0.0	0.7



小学6年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	52.4	47.1							0.0	0.5



中学1年	1. 決めている 2. 決めていない									
	1	2	3	4	5	6	7	8	その他	無回答
鳥取県	53.9	45.3							0.0	0.8

